

## 一般会計等財務書類の主な財政指標

項目	計算式	値	説明
資産形成度			
辰野町の資産		307億円	
町民一人当たり資産		151.7万円	平成28年3月31日現在の人口(平均150万円程度)
資産老朽化比率	減価償却累計額÷(有形固定合計+減価償却累計額)	42.6%	耐用年数に対し経過している割合(平均35~70%)
歳入額対資産比率	資産合計÷歳入総額	3.5	形成された資産が歳入の何年分にあたるか(平均3.0~7.0)
世代間公平性			
純資産比率	純資産合計÷資産合計	77.4%	返済を必要としない正味の資産の割合(平均60~70%)
将来世代負担比率	地方債÷資産合計	24.5%	資産額に占める将来世代の負担(負債額)の比重(平均15~40%)
持続可能性			
辰野町の負債		95.8億円	
町民一人当たり負債額		47.3万円	平成28年3月31日現在の人口
プライマリバランス	支払利息支出を除く業務活動収支+投資活動収支	3.0億円	地方債の元利償還額を除いた歳出と地方債発行収入を除いた歳入のバランス(値がプラスであれば経費が税金などでまかなわれている)
効率性			
町民一人当たり行政コスト		38.8万円	
弾力性			
行政コスト対税率等比率	税率等÷純行政コスト	78.2%	当年度に行われた行政サービスのコストから受益者負担分を除いた純経常行政コストに対して、どれだけが当年度の負担でまかなわれたか(平均90~110%)
行政コスト対公共資産比率	経常費用÷資産合計	26.7%	資産活用のためどれだけのコストがかけられているか、どれだけの資産でどれだけの行政サービスを提供しているか(平均10~30%)
自律性			
受益者負担割合	経常収益÷経常費用	4.0%	使用料・手数料等受益者負担額の行政コストに対する割合(平均2~8%)

## 算定基礎数値

財務書類等	項目	項番	値(千円)	説明
人口	住民基本台帳人口		20,237	H28.3.31現在
貸借対照表	資産合計	①	30,703,600	
	資産合計／人口	-	1,517	①／人口
貸借対照表	事業用資産-建物減価償却累計額	②-1	15,805,199	
貸借対照表	事業用資産-工作物減価償却累計額	②-2	2,120,381	
貸借対照表	インフラ資産-建物減価償却累計額	②-3	232,985	
貸借対照表	インフラ資産-工作物減価償却累計額	②-4	38,090,480	
貸借対照表	減価償却累計額計(建物・工作物)	②	56,249,045	
貸借対照表	事業用資産-建物	③-1	22,984,381	
貸借対照表	事業用資産-工作物	③-2	2,447,714	
貸借対照表	インフラ資産-建物	③-3	373,086	
貸借対照表	インフラ資産-工作物	③-4	50,148,372	
貸借対照表	有形固定資産計(建物・工作物)	③	75,953,553	
	資産老朽率	-	42.55%	②／②+③
資金収支計算書	業務収入	④-1	7,578,070	
資金収支計算書	臨時収入	④-2	0	
資金収支計算書	投資活動収入	④-3	325,637	
資金収支計算書	財務活動収入	④-4	684,500	
資金収支計算書	前年度末資金残高	④-5	296,804	
資金収支計算書	歳入総額	④	8,885,011	
	資産合計／歳入総額	-	3.46	①／④
貸借対照表	純資産合計	⑤	23,776,124	
	純資産合計／資産合計	-	77.4%	⑤／①
貸借対照表	地方債	⑥	6,844,534	
貸借対照表	1年内償還予定地方債	⑦	664,735	
	地方債／資産合計	-	24.5%	(⑥+⑦)／①
貸借対照表	負債合計	⑧	9,575,627	
	負債合計／人口	-	473,174	⑧／人口
資金収支計算書	業務活動収支	⑨	1,103,960	
資金収支計算書	投資活動収支	⑩	▲ 848,585	
資金収支計算書	支払利息支出	⑪	46,720	
	基礎的財政収支(プライマリバランス)	-	302,095	⑨+⑪+⑩
行政コスト計算書	純行政コスト	⑫	7,858,494	
	純行政コスト／人口	-	388,323	⑫／人口
純資産変動計算書	税収等	⑬	6,147,261	
	税収等／純行政コスト	-	78.2%	⑬／⑫
行政コスト計算書	経常費用	⑭	8,184,229	
	経常費用／資産合計	-	26.7%	⑭／①
行政コスト計算書	経常収益	⑮	323,652	
	経常収益／経常費用	-	4.0%	⑮／⑭